

# 藤岡小だより

令和 5 年 10 月 18 日発行

学校教育目標 『**楠のように大きく香り高き人に**』

重点目標 「**自分で、自分から 正しく判断して行動しよう**」

## 前期終業・後期始業式、第3ステージ（ジャンプ）集会（10月11日）



10月11日に前期終業・後期始業式、第3ステージ集会（ジャンプ）を行いました。

2年生代表児童からは、「算数の授業で、水のかさを考えるときに、1Lますや1dLますをかいて考え、それを電子黒板に写して説明した様子や、9月のベストリーダー（読書賞）になったこと、給食をたくさん食べて、お友達とも仲よく遊んでいること」など、これまでの頑張りを後期も続けていきたいという発表がありました。また、4年生代表児童からは、「あいさつをレベルアップさせて、相手の目を見て、気持ちのよいあいさつを意識したい、授業では、友達の意見をしっかりと聴いて、つなげたり質問したりすることで、みんなで授業を盛り上げたい、そうじの時間は、だまって取り組むことを意識して、“だいいじ（だまって・いっしょうけんめい・じかんいっぱい）そうじ”をレベルアップしたい、5年生に向けてレベルアップできる後期にしたい」と、力強い発表がありました。

校長先生のお話の中では、チャレンジステージでの「自分で、自分から」挑戦してきた各学年の姿をふり返る時間がありました。音楽会に向けて、取り組んできたそれぞれの学年の頑張りを認め合い、これからの目標を考える時間となりました。

中国の古典の一つに、菜根譚（さいこんたん）というものがあります。多くの名言がありますが、代表する格言の中に「伏すこと久しきは 飛ぶこと 必ず高し」があります。成功や勝利は、逆境から始まることが多いものです。結果が出ない、物事が思い通りいかない時も、決して投げやりになってはならないという教えです。子どもたちの頑張りの、直ぐには結果につながらないことが多くあります。その過程での努力を見届け価値づけていくことが大切になると思います。子どもたちのひたむきさや素直さは柔軟なバネです。じっくりと力を蓄え、大きくジャンプする日を見守っていきたいと思います。

## 西益津中学校区学小中一貫教育「西中合唱中間発表会」（10月17日）

西益津中学校区学小中一貫教育の取組みの一つに、西中生による合唱中間発表会に、西益津小学校、藤岡小学校の6年生の参加があります。西益津中学校の体育館で、合唱やハンドベルの演奏を聴いたり、3校合同で合唱曲「ビリーブ」を歌ったりして交流しました。参加した6年生からは「声の迫りに圧倒された」「とてもきれいな歌声だった」「ハンドベルが揃っていて素敵だった」などの感想が聞かれました。

半年後の中学校進学に向けて、また、数年後の自分の姿と重ねて、意欲を高めることができたと思います。

